

# 林業技能検定から見えてくる 林業労働安全の課題

一般社団法人 林業技能教育研究所  
所長 飛田京子

# 自己紹介（林技研 所長 飛田京子）

1979 福岡県大牟田市生まれ

2013 工学院大学工学部建築学科卒

2004-2013 民間企業で、施工・安全管理に従事  
専門分野：  
食品医薬品などの製造設備  
自動車等のエンジン開発装置の導入

2014.4 東京大学大学院農学生命科学研究科  
森林科学専攻 修士課程 入学  
研究テーマ：チェーンソーの技能教育

2019.3 博士号(農学)取得  
.4 鳥取市に移住  
東京大学大学院農学生命科学研究科  
農学特定研究員  
研究、チェーンソーに関する講師、  
教育プログラムのコンサルティング、専門誌執筆  
など実施

2020.2 一般社団法人林業技能教育研究所 設立  
(略称：林技研)



# 今年度のテーマ

## 林業技能検定から見えてくる林業労働安全の課題 (技能検定の視点から、林業で働く人の特徴を整理する)

技能検定制度に新たに林業職種が追加され、  
令和6年度から試験が開始しています。  
今までと“ひと味”違うこの検定制度は、  
**“林業”で働く人のあり方を浮き彫りにしています。**

# 今年度のテーマ

林業技能検定を受検した、または受検しようとする林業従事者の様子には、  
良くも悪くも彼らの特徴が現れています。  
ここに現れる彼らの特徴を整理し見つめ直すことは、  
林業労働安全の課題を再認識することに繋がると感じています。

林業従事者が発する象徴的な言葉と共に、  
**技能検定を通して見えてきた林業労働安全の課題**  
をお伝えしたいと思います。

# 林業技能検定とは

## 技能検定

働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度。

令和7年2月4日時点で**133職種**の試験があり、  
**林業技能検定はそのうちのひとつ。**

## 林業技能検定の指定試験機関

一般社団法人林業技能向上センター

<https://ringyou-gino.org/>

# 林業技能検定とは

認知

判断

(知的能力)  
見立てる力

操作

(身体能力)  
見立てを実行する力

学科試験

見立ての基盤となる知識

学科試験

実技試験

見立てる力

判断等試験

見立てを実行する力

製作等作業試験

# 林業技能検定とは

## 学科試験

見立ての基盤となる知識

学科試験

※CBT試験は、紙の試験問題や回答用紙の代わりに、コンピューターを使って実施する試験方式のことです。

CBT方式

## 実技試験

見立てる力

判断等試験

※学科試験と判断等試験は同日に行われます。

CBT方式

見立てを実行する力

製作等作業試験

実技試験

## 試験日程・場所

学科・判断等試験（実技）

9/18(金)

全国のCBT試験会場

製作等作業試験（実技）

8/26(水)～2/28日のうち定められた日

北海道・岩手県・秋田県・群馬県・石川県・福井県・

奈良県・広島県・愛媛県・熊本県・宮崎県

(11会場)

# 課題 1

「勉強しないと合格できないの・・・！？」

# 課題 1 「勉強しないと合格できないの・・・！？」

## 林業技能検定受検者数および合格者数 ( $R6^{*1} \cdot R7^{*2}$ )

|    | 1 級        |               | 2 級        |               | 3 級        |               |
|----|------------|---------------|------------|---------------|------------|---------------|
|    | 受検<br>申請者数 | 合格者数<br>(合格率) | 受検<br>申請者数 | 合格者数<br>(合格率) | 受検<br>申請者数 | 合格者数<br>(合格率) |
| R6 | 135        | 4<br>(3%)     | 58         | 16<br>(28%)   | 85         | 57<br>(67%)   |
| R7 | 292        | 29<br>(10%)   | 277        | 47<br>(17%)   | 148        | 85<br>(57%)   |

- \*1 情報誌「林野」 2025年4月号 No.217 林野庁  
([https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/2025\\_04/index.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/2025_04/index.html))
- \*2 一般社団法人林業技能向上センターWEBサイト  
(<https://ringyou-gino.org/>)

# 課題 1 「勉強しないと合格できないの・・・！？」

## 2024年度 合格者数

1級 4名(3%)    2級 16名(28%)    3級 57名(67%)

技能検定受検者等へのヒアリング結果をもとにした  
合格率が低い理由として考えられること

- ・ **受験勉強をしていない**
- ・ 初回のため、過去問題がなく出題傾向が分からなかった
- ・ 書類を読んでおらず正しい準備が出来ていなかった  
(安全装備や作業用具など)
- ・ **試験問題(製作等作業試験)を理解していなかった**
- ・ 簡易伐倒方式による操作技能のトレーニングを行った経験がない

# 課題 1

「勉強しないと合格できないの・・・！？」

技能検定対策講習などでは、  
合格するために**十分な受検対策が必要だ**という**事実**に  
**衝撃**を受けている**受講生**が一定数います。

実際、**受検案内も試験問題も読まずに**  
**試験会場に来る**受検者が多数いるようです。

林業従事者の資格試験に対するこれらの認識は、  
特に珍しいものではありません。  
彼らの多くが取得するはずの資格の意義に  
疑問が生じてしまいます・・・

## 課題 2

「これくらい大丈夫だと思った・・・」

## 課題 2 「これくらい大丈夫だと思った・・・」

### 林業技能検定受検者数および合格者数 ( $R6^{*1} \cdot R7^{*2}$ )

#### 5. 保護具等・作業用具一覧

##### (1) 受検者が持参するもの ア保護具等 (※一部抜粋) \*4

| 品名                     | 仕様・規格等                                                                                                                                                                       |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護網（バイザー）もしくは<br>保護めがね | 6 (1) 保護具等に係る失格要件参照                                                                                                                                                          |
| 防護衣                    | JIST8125-2 2022class1 以上<br>又は<br>ISO、EN、ASTM、AS/NZS 規格の class1 以上の表示がある防護ズボン又はチャップス<br>生地の外見に切れ、裂け、穴の損傷がないもの<br>生地 of 損傷を補修した跡がないもの<br>※ただし、防護材料を覆う部分以外（ポケットや臀部等）の損傷又は補修は除く |

\*4 2025年技能検定林業職種（育林・素材生産作業）1級実技試験問題（製作等作業試験）

## 課題 2 「これくらい大丈夫だと思った・・・」

### 林業技能検定受検者数および合格者数 ( $R6^{*1} \cdot R7^{*2}$ )

#### 6. 失格要件

##### (1) 保護具等に係る失格要件 (※一部抜粋) \*4

| 保護具等 |                    | 確認項目  |                                                                                                                                                 |
|------|--------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 002  | 保護網(バイザー)もしくは保護めがね | 002-1 | 保護網(バイザー): 網が破れていないか(1 cm以上の破れは不可)<br>保護めがね: 亀裂等の損傷がないか(1 cm以上の亀裂は不可)                                                                           |
| 006  | 防護衣                | 006-1 | JIST8125-2 2022class1 以上<br>又は<br>ISO、EN、ASTM、AS/NZS 規格の class1 以上の表示がある防護ズボン又はチャップス生地 of 損傷を補修した跡がないもの<br>※ただし、防護材料を覆う部分以外(ポケットや臀部等)の損傷又は補修は除く |
|      |                    | 006-2 | 生地の外見に切れ、裂け、穴の損傷がないか<br>生地 of 損傷を補修した跡がないか<br>※ただし、防護材料を覆う部分以外(ポケットや臀部等)の損傷又は補修は除く                                                              |

\*4 2025年技能検定林業職種(育林・素材生産作業)1級実技試験問題(製作等作業試験)

## 課題 2

「これくらい大丈夫だと思った・・・」

これまでの試験では、  
これらに求められる**要件を満たしていない**ことを理由に、  
一定数の受検者が**失格**となっています。  
その数は**一人や二人ではありません**。

あくまでも私個人の見解ですが、  
林業では特に、  
**現場の作業員の自己判断の多くが許容**されています。

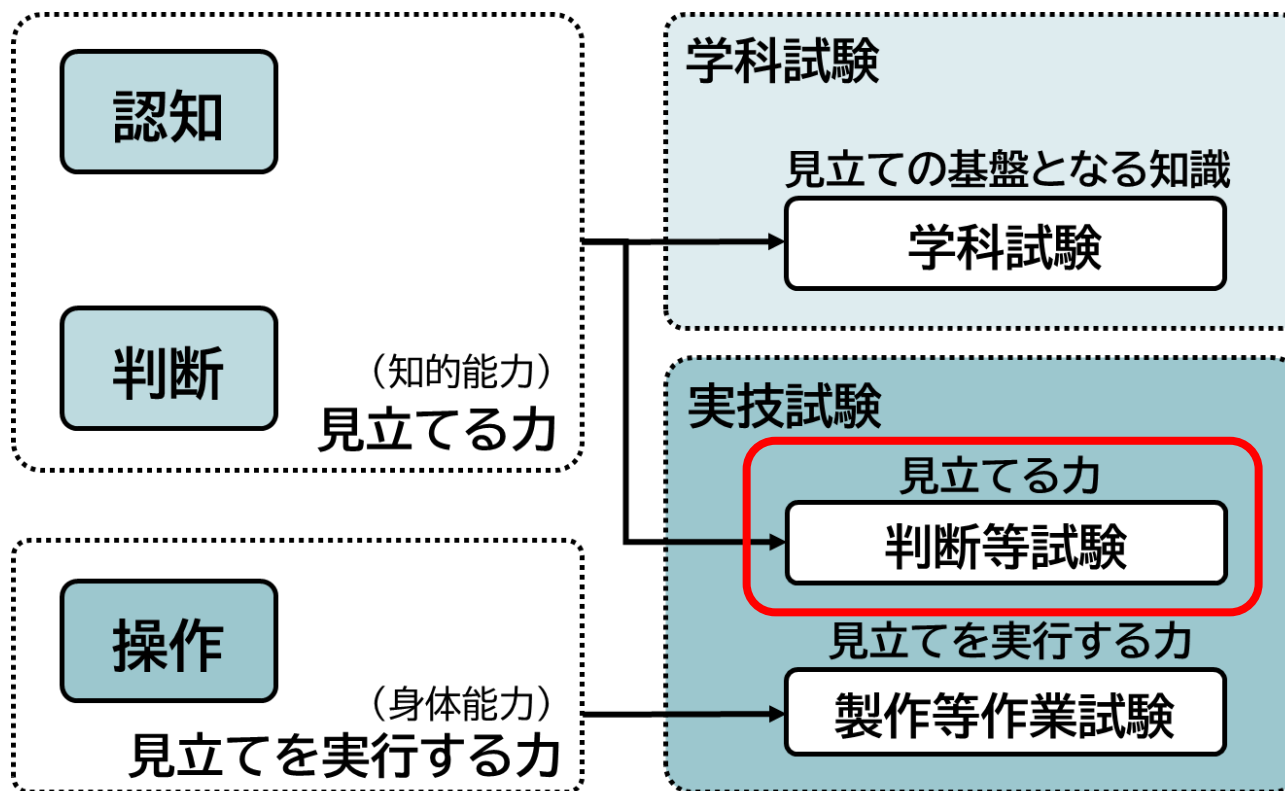
林業は、作業も安全も現場のことを現場に  
任せすぎているように感じています。

# 課題 3

「考えれば考えるほど  
分からなくなってくるんです・・・」

### 課題 3 「考えれば考えるほど 分からなくなってくるんです・・・」

これは、判断等試験について語られた言葉です。



# 課題 3 「考えれば考えるほど 分からなくなってくるんです・・・」

**これは、判断等試験について語られた言葉です。**

## 判断等試験

| 等級 | 出題方法    | 出題範囲                       | 試験時間 | 配点   | 合格基準 |
|----|---------|----------------------------|------|------|------|
| 1級 | 多肢選択法5問 | 試験科目及びその範囲並びにその細目の実技試験のとおり | 20分  | 100点 | 60点  |
| 2級 | 多肢選択法5問 | 試験科目及びその範囲並びにその細目の実技試験のとおり | 20分  | 100点 | 60点  |

一般社団法人林業技能向上センターWEBサイトより引用(<https://ringyou-gino.org/>)

判断等試験は、実地的な対象物または現場の状態、状況などについて説明した設問により、判別、判断、測定、計算などを行う試験です。

## 課題 3

「考えれば考えるほど分からなくなってくるんです・・・」

これは、**ベテラン世代**の受検者が一様に発する言葉です。

**多様な経験を持つ彼らは、**

設問の写真や文章で示されていない

**環境や条件を深読み**してしまい、

その結果解答に迷ってしまうようです。

林業では、作業が均質化できないこともあり、

**見立て（認知・判断）の基礎（基本）に対する認識が薄い**  
ことが原因ではないか。

基礎が分からない（基礎と応用の区別がつかない）ということ  
とは、迷ったときに立ち返る軸がないということ。

見立ての基礎教育の構築が急がれます。

**林業技能検定は、  
林業労働安全の課題を浮き彫りにしています。**

浮き彫りになっているこれらのことは、  
当事者にとっては認識できないくらい  
日常に溶け込んでいる課題です。

**日常に溶け込むほど“当たり前”になっている  
これらの課題を変えるのは容易ではない反面  
変えられれば大きな効果が期待できる重要な課題です。**

まずはそこに課題があると認識するところから  
始めましょう。